

教 員 個 人 調 書

(記載例および記入上の注意)

※長くとも全体で6頁以内とする。(その1)は1頁以内とする)
 ※各欄について該当がない場合には、“なし”と記載する。

(その1)

氏名	むろらん たろう 室蘭 太郎	現職	○○○○○○大学 大学院工学研究科 准教授	性別	女	国籍	外国籍の場合のみ国名記載	生年月日 (年齢)	○○○○年○月○日 (歳)
学歴	○○○○年3月 ○○大学○学部○○学科卒業								
	○○○○年3月 ○○大学大学院○学研究科博士前期課程修了								
		○○○○年3月 ○○大学大学院○学研究科博士後期課程単位修得退学							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入 ・ 学位（論文題目）、資格、称号等についても同欄に記入 ・ 研究生の期間は学歴欄に記載 ・ <u>年次の古いものから</u>記述する </div>									
職歴	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記 ・ <u>年次の古いものから</u>記述する </div>								
学会・社会活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入 ・ <u>年次の古いものから</u>記述する </div>								
賞罰									
任用予定職	○○領域・教授（准教授、講師、助教）（○○○○ユニット）								
担当予定授業科目	学 部： 大学院：								

年月日は全て「西暦」で記載すること

教育研究等業績調書							
	職名	所属学部等	担当授業科目名	年間担当授業時間数			計
				専任	兼任	兼任	
	准教授	〇〇学科	基礎〇〇工学	30			30
	准教授	〇〇学科	〇〇工学基礎実験	45			45
	准教授	〇〇学科	卒業研究	360			360
	准教授	大学院工学研究科	〇〇学特論	30			30
	准教授	〇〇専攻					
	准教授	大学院工学研究科	〇〇工学特別研究 I	60			60
	〇〇専攻						
	非常勤講師	□□大学□□学科	□□学入門			30	30
大学等における 職務の現況	<p>「大学等における職務の現況」欄の担当授業科目名には、学部、大学院における担当科目をすべて記入すること。(ゼミナール及び特別研究を含む)</p> <p>オムニバス方式(複数の担当者がリレー式の講義を行うこと)による授業に関しては、自身の担当時間数のみを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 授業科目の年間時間数＝毎週授業時間数×担当週数 で計算する。毎週授業時間数は、学生便覧または大学院履修要項の教育課程表に記載されている値を用いること。毎週授業時間数が 2 時間の講義を 15 週担当した場合は「2 時間×15 週=30 時間」となる。 ▶ 所属大学の専任学部(又は学科)以外の学部(又は学科)の授業を担当している場合は兼任の欄に、所属大学以外の大学の授業を担当している場合は兼任の欄に記入する。 ▶ 民間機関等の方は非常勤講師等の経験を記入する。 						
教育上の業績	1. 教育歴 2. 教育方法の実践例 3. 作成した教科書, 教材 4. その他(特に重要と思われるもの)						

研 究 業 績	<p>1. 著書 1) 室蘭太郎, 水元道夫, 胆振四郎, 雷ハンドブック, 電気学会 (2018) pp.88-101 著者名, 著書名, 出版社, (発行年) ※分担は執筆箇所を明記 ※本人に下線</p> <p>2. 論文(査読付) 1) Mizumoto M, <u>Muroran T</u> and Iburi S, Diffusion coefficient of electrons in real space, IEEE Trans. on Plasma Science. Vol.143, No.3, pp.95-99 (2019) 【IF:1.234】 著者名, 論文名, 論文誌, 巻, 号, 頁 (発表年) 【IF 値】 ※頁は始-終を明記 ※本人に下線</p> <p>2) Mizumoto M, <u>Muroran T</u> and Iburi S, Transport coefficient of electrons in real space, J. Appl. Phys., Vol.143, 10FL07 (7 pages) (2017) 【IF:2.345】 著者名, 論文名, 論文誌, 巻, article number, (ページ数) (発表年) 【IF 値】 ※本人に下線</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年次の新しいものから記述する ・ 全体が6頁以内となるように工夫する (例: 他〇〇編) ※(他〇〇編)と省略した場合は, 全ての論文等を記載したリストを別途提出すること ・ 掲載済あるいは掲載決定のもののみを記載する ・ インパクトファクター(IF)がない場合は、[IF なし] と記載する </div> <p>3. 作品等 なし</p> <p>4. 解説・総説 <u>論文(査読付)参照</u></p> <p>5. 国際会議論文(*査読付) 1) *<u>Muroran T</u>, Mizumoto M and Iburi S, Deposition of a-SiC:H films by RF plasma using tetramethylsilane and hydrogen, Proc. of 19th Int. Symposium on Plasma Physics, Vol.3 pp.1793-1797 (2019, Santa Fe ; USA) 論文(査読付)参照, (開催地)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際会議論文は査読付のものに*を付記 ・ インパクトファクター(IF)がない場合は、[IF なし] と記載する </div> <p>6. 研究報告 <u>論文(査読付)参照</u></p> <p>7. 科学研究費等の採択状況 1) 有機材料による機能性シリコン系薄膜の低温堆積技術の評価と改良 〇〇〇〇年度文部科学省科学研究費「基盤研究B」代表 (番号*****) 課題名, 採択年, 研究費名, 代表・分担, (課題番号)</p> <p>8. その他(特に重要と思われるもの)</p>
---------	---

社会貢献業績	1. 共同研究等の実績 2. 特許・実用新案等の実績 登録 公開 3. その他(特に重要と思われるもの)
大学等運営上の経験・業績	
芸術, 体育等の特殊技能	
専門分野における特別な知識, 経験	

該当する欄のみ記入

研究業績の分類	著書	論文	解説・総説	国際会議論文	研究報告
○○○○	1	1, 2, 3, 8	1	1	
○○○○	2, 3, 6	6, 7			1
○○○○	4, 5	4, 5	1	2	

・分類は3分類程度とする
 ・研究業績欄の「著書」「論文」等に
 記載した番号を記載